

一般質問

12月18、19日の本会議では、市政一般について51人の議員が質問を行いました。その主な質問と答弁の要旨は次のとおりです。(発言順)

12月18日

多摩区
よしざわ あきこ
吉沢 章子
(自民党)



若者の行政参加

- Q 行政課題の解決に若年層の知恵を借りるため、高校生課を新設するなど若者の行政参加への新たな取り組みへの見解は。
- A 高校生が主体的に参加できる行政運営を検討していきたい。



期日前投票

- Q 投票時間の延長についての見解は。
- A 期日前投票所は公職選挙法の規定により、開閉時間が決まっている。国に26年4月に設置された研究会で、期日前投票の投票時間の弾力化も検討中であり、その動向を注視していきたい。

中原区
かわしま まさひろ
川島 雅裕
(公明党)



資源集団回収物の持ち去り

- Q 早期に調査を行い、実態を把握すべきだが、今後の取り組みは。
- A 集団回収を実施している市民団体への調査を実施し、他都市の取り組みなど、効果的な防止対策を調査研究していく。

土砂災害避難体制

- Q 行政から発信される災害時の情報に対し、市民がとるべき行動の広報は、分かりやすく、掲示しやすい工夫が必要では。
- A メールニュースなどに分かりやすく掲載し、迅速な避難行動に結び付くよう防災啓発冊子などの紙面を工夫したい。

中原区
おしもと よしじ
押本 吉司
(民主党)



夜間の校庭開放

- Q 利用対象者を社会人に限定しているが、対象範囲の制限を解除しては。
- A 未成年者に対する就寝時間への配慮や行き帰りの安全確保などの意見があるが、制限を緩和するよう検討を進めている。

町内会・自治会会館の整備

- Q 現行の補助制度の見直しが発表されたが、見直しにより期待できる効果は。
- A 工事費の一部を直接補助することや、バリアフリーなどの改修も補助対象に加えたことで、多様化する要望にも柔軟に対応できると考えている。

多摩区
いぐち まみ
井口 真美
(共産党)



多摩川サイクリングコースの延伸

- Q ニヶ領用水取水口を渡る布田橋付近でコースが途切れることがネックとなって

いるが、国への働きかけは。

- A 多摩川の魅力を高めるためにも重要と考えており、早期にコース整備が実現できるように国と調整を進めたい。

稲田公園駐車場の有料化

- Q 27年3月1日から有料化する理由は。
- A 現在は無料のため公園利用者以外の駐車常態化、夜間の騒音などの問題があったことから有料駐車場として暫定整備し、適正かつ効率的に管理することにした。



稲田公園駐車場(多摩区)

宮前区
そえだ まさる
添田 勝
(新しい川崎の会)



かわさき健幸福寿プロジェクト

- Q モデル事業の進捗状況は。
- A 26年10月から、市内の通所介護の利用者や特別養護老人ホーム入居者などを対象に日常生活動作の改善に取り組んでおり、効果などの検証を26年度中に行う。

かわさき健幸福寿プロジェクト

- Q 27年度以降、介護政策の中では極めて重い位置付けとなるが、決意は。
- A 川崎市から発信する取り組みで国の制度改正へとつながり、住み慣れた地域で暮らし続けられる元気な高齢者の姿が全国に広がるのが目指す将来像である。

麻生区
やまざき なおふみ
山崎 直史
(自民党)



社会福祉協議会

- Q 市からの補助金や委託料は、金額の妥当性と事業の執行状況の検証が必要では。
- A 事業を所管する部署ごとに、補助金交付要綱などに基つき経費の妥当性を判断し、事業実施後は、結果報告の検査などを通じ、執行状況を確認している。

調整池の市民利用

- Q 市民からの施設利用ニーズへの対応は。
- A 町内会・自治会などで適正な管理が可能な場合などに限り利用を認めている。今後、調整池本来の構造や機能を阻害しない範囲で利用を検討していきたい。



市民に利用されている調整池

多摩区
こうの
河野 ゆかり
(公明党)



ベビーカーマーク

- Q 市バスへの設置の取り組みは。

- A 26年3月に国の協議会で全国統一のベビーカーマークを作成したことを受け、11月に市バス338両の車体側面に統一ベビーカーマークのステッカーを貼付した。

京王稲田堤駅への案内表示

- Q J R 稲田堤駅から京王稲田堤駅へのわかりやすい案内表示を設置すべきでは。
- A 京王線南口に向かう交差点に地元商店会の協力を得てパナフレッドを設置するとともに、26年度中に地区計画区域表示板に案内表示を行う予定である。

麻生区
こば りかこ
木庭 理香子
(民主党)



学校施設の防犯カメラ

- Q 犯罪が発生した時など有事に対応できるよう、録画機能を持つ防犯カメラを配置すべきでは。
- A 既設置校や他都市における運用状況などを参考にしつつ、設置を検討したい。

民生委員児童委員

- Q 活動内容を記入・集計する作業は現在手作業だが、負担を感じる意見も多数ある。市独自にシステム化を検討しては。
- A 民生委員児童委員協議会の意見を聞きつつ、パソコンを活用する手法などを検討し、負担軽減に取り組みたい。

川崎区
みやはら はるお
宮原 春夫
(共産党)



京急八丁磯駅前の安全対策

- Q 歩行者の安全を確保するためにどのような整備が検討されているのか。
- A 27年度前期を目途に、歩行空間や歩行者の滞留スペースの確保など暫定整備を実施していきたい。



京急八丁磯駅前

町内会会館のバリアフリー化支援

- Q 町内会会館などの整備に対する補助制度の見直しが発表されたが、周知方法は。
- A 制度変更のポイントなどを記載したリーフレットを作成し、27年2月を目途に市内の全町内会・自治会に郵送し、制度利用の意向調査を行う予定である。

中原区
まつかわ しゅうじろう
松川 正二郎
(新しい川崎の会)



JR南武線連続立体交差事業

- Q 今後のスケジュールは。
- A 現在進めている事業調査に2年程度、都市計画決定などの法手続きに3年程度を考えている。その後、事業に着手し、着手後おおむね10年から15年を要すると考えている。

丸子橋周辺のバーベキュー対策

- Q 26年7月から11月にかけて駐車場の有人化を行ったが、今後の取り組みは。
- A 有人による警備などを行うとともに、丸子橋駐車場を有料化し、丸子橋周辺河川敷をより適正に管理運営していきたい。

多摩区
ひろた けんいち
廣田 健一
(自民党)



J R 稲田堤駅の橋上化

- Q J R 稲田堤駅の橋上化は、予定どおり

29年度末に完成できるのか。

- A 用地取得完了後にJ R 東日本と工事施行協定を締結する。現在の進捗状況から29年度末の完成は難しいと考えている。

地域防犯対策

- Q 防犯カメラが犯人逮捕や犯罪抑止に役立っている。防犯カメラ設置の見解は。
- A 犯罪捜査や抑止の観点から、安全で安心なまちづくりの一助になるものと考えているが、プライバシーへの配慮が重要であると認識している。

宮前区
たむら しんいちろう
田村 伸一郎
(公明党)



障害児向け受診カード

- Q 医療機関受診時に利用できるような発達障害の特徴を伝える受診カードや思いやりカードを作成しては。
- A 現在、広域性、実用性や有効性などさまざまな観点から発達相談支援センターと協議調整を行っている。

バス路線の新設

- Q 小田急向ヶ丘遊園駅から東急たまプラーザ駅の路線を望む声があるが、見解は。
- A バス停留所の確保や既存バス事業者との競合区間の協議・調整、車両の増車などの課題があることから難しいと考える。

多摩区
つゆき あけみ
露木 明美
(民主党)



有償ボランティア

- Q 今後、どのような方向で取り組むのか。
- A 学識経験者や公募市民などによる検討委員会を26年12月に設置した。多様な地域人材の活力を引き出し、継続性ややりがいの持てる仕組みとしたい。

公園へのトイレの設置

- Q 要望があるのにトイレを設置できない理由は。
- A 公園敷地がおおむね千平方メートル以上で、周辺道路に下水管が敷設されていること、隣接住民の合意などの条件を満たす必要があるためである。

多摩区
さいとう たかし
斉藤 隆司
(共産党)



登戸土地区画整理事業

- Q 商店街からまちづくりへの不安の声があるが、どのような手法を考えているか。
- A まとまったエリアを対象とした集団移転などの手法の活用により、移転期間をなるべく短くするなどの工夫を行いながら整備を進めていきたい。

商店街支援

- Q 商店街イベントなどを支援する商店街魅力アップ支援事業における評価制度はやめるべきでは。
- A 商店街の組織力強化や販売促進が高まるなどの効果があると考えている。

中原区
まつばら しげふみ
松原 成文
(自民党)



市の出生率と出生数の目標設定

- Q 市として合計特殊出生率(★1)や出生数の目標数値を設定すべきでは。
- A 若い世代が子どもを産み育てたいと感じられるよう、子育てを社会全体で支える環境づくりを進めていきたい。

真福寺小学校への学校用地の寄附

- Q 受納してから20年間そのままにしていたことをどう受け止めているのか。
- A 児童の学習活動における活用を検討する必要があったと考えている。今後は、残された自然を生かしつつ、その活用を促進していきたい。